

プレスリリース

ドイツ・シュツットガルト、2020年9月4日

マーレが車室内の微粒子を除去するスマート空調システムを開発

- 空調システムに微粒子センサを一体化。
- センサー一体化により空調システムのレスポンスの迅速性と精度が向上。
- 機能を統合したマーレのスマート空調システムは、従来品を超える小型化、軽量化、優れたコスト性を達成。
- 新規開発の微粒子フィルタにより、完成度の高い機能を発揮。

マーレは、車室内の微粒子除去機能を強化するスマート空調システムを開発しました。その最大の特徴は、微粒子センサを空調システムに一体化したことにあります。空調システムに内蔵されたセンサが、車室内外の空気を直接検知。変化する汚染レベルに、空調システムが迅速かつ高精度に対応することが可能になります。また、最適な空気清浄技術により、車内空気の清浄度を高いレベルで維持することができます。このマーレの新技术は、既存システムを上回る優位性を実現しています。空調システムに機能を統合したことで、小型化、軽量化、そして優れたコスト性を実現しました。この革新的なスマート空調システムは、新規開発された高効率微粒子フィルタを採用しています。

「当社が開発した新しいスマート空調システムを搭載した車内は、微粒子量が低下し、空気の清浄度が向上していることにドライバーは気がつくはずです」とマーレグループ Director Advanced Engineering Thermal Management の Laurent Art が述べています。「この新しいシステムは、車内の空気質をドライバーにリアルタイムで知らせる機能も装備しています」。

既存の汚染レベル検知技術は、独立したセンサ単体、もしくは複数のセンサをHVACユニットにワイヤハーネスで接続する複雑なシステムとなっています。

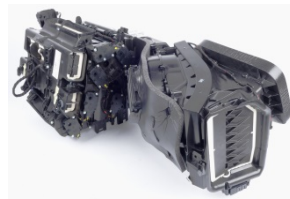
新世代微粒子フィルタ

この画期的なセンサコンセプトに加え、マーレは新世代微粒子フィルタも開発しました。このフィルタは、その高い捕集率を大きく劣化させることなく、耐久期間を通して維持することが可能です。つまり、車室内空気の清浄度も長期間にわたり高いレベルで保持されるのです。外気に含まれる微粒子や固形粒子、有害ガス、環境臭気などを高い信頼性で除去し、車内への侵入を防ぎます。路上走行で

排出される代表的な粒子としてブレーキ摩耗粉塵やディーゼル車の煤、タイヤ摩耗粉塵などが挙げられますが、こうした粒子の車内への侵入も防止します。マーレのスマート空調システムに一体化したセンサで、フィルタエレメントの最適な交換時期を確認することも可能です。フィルタは、汚染空気の空調システム内への侵入を防ぎ、部品を保護する効果もあります。



マーレの新技術は、車室内外の空気をリアルタイムで把握。



新規開発のセンサはHVACユニットに一体化。（写真はその一例）

お問合せ先:

Ruben Danisch
Head of Corporate and Product Communications
Phone: +49 711 501-12199
E-mail: ruben.danisch@mahle.com

Christopher Rimmele
Product, Technology, and Aftermarket Communications Spokesman
Phone: +49 711 501-12374
E-mail: christopher.rimmele@mahle.com

広報担当（アジア1）
ジュディアン・ゴ
Tel: 050-3363-0015
E-mail: judy-ann.go@jp.mahle.com

マーレについて

1920年に設立したマーレは未来のモビリティの先駆者であると同時に、自動車業界トップクラスの開発パートナー、そしてサプライヤーとして世界で活動しています。マーレグループは、未来のモビリティを変革するために、内燃エンジンの最適化にたゆまぬ努力を傾けながら、代替燃料の利用拡大を推進し、FCVを含むeモビリティの普及に向けた基盤づくりを行なっています。マーレグループはパワートレインや空調技術に関する必要不可欠な要素を網羅する製品ラインナップを展開しています。

2019年の売上高は120億ユーロ（1兆4,711億円）に達しました。現在、世界30ヶ国以上、160の生産拠点で77,000人以上が従事しています。